

## 平成30年度 第22回 役員会議事要旨

日 時 平成31年3月27日（水） 10時30分～12時30分

場 所 学長室

出席者 学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，吉田理事

欠席者 なし

陪席者 佐々木監事，山下附属病院長

### 1 審議事項

#### 【一括審議事項】

学長から，役員会で協議し，教育研究評議会等で審議した14案件について，一括審議する旨の説明があった。

次いで，総務課長から一括審議事項の概要について次のとおり説明があった。

- (1) 佐賀大学情報セキュリティ対策基本計画（案）について  
本件は，現在の基本計画の再確認を行い，平成31年度から3年間の「佐賀大学情報セキュリティ対策基本計画（案）」を作成するもの。
- (2) 平成31年度国立大学法人佐賀大学年度計画（案）について  
本件は，国立大学法人法第35条において読み替え，独立行政法人通則法第31条の規定により年度計画を作成し，文部科学省に届け出るもの。
- (3) 国立大学法人佐賀大学化学物質管理規程の制定について  
本件は，本学における化学薬品の管理強化を図るため，当該規程を制定するもの。
- (4) 教育学部附属中学校に部活動指導員を配置することに伴う就業規則等の一部改正について  
本件は，教育学部附属中学校に部活動指導員を配置するため，関連規程の改正を行うもの。
- (5) 国立大学法人佐賀大学契約職員給与規程の一部改正について  
本件は，無期労働契約となった契約職員の給与の改定時期について規定するもの。

- (6) 退職時に退職手当を支給する年俸制の導入に伴う就業規則等の一部改正について  
本件は、退職時に退職手当を支給する年俸制の導入に伴い、関係規則の整備を行うもの。
- (7) 働き方改革対応に伴う国立大学法人佐賀大学職員の勤務時間、休暇等規程の一部改正について  
本件は、働き方改革関連法への対応のため所要の改正を行うもの。
- (8) 「2019年度予算編成における財務戦略について(案)」及び「2019年度佐賀大学収入・支出予算(案)」について  
本件は、「平成31年度国立大学法人佐賀大学予算編成の基本方針」を踏まえ、2019年度予算編成における財務戦略及び2019年度収入・支出予算を策定するもの。
- (9) 2019年度長期借入金及び長期借入金償還計画の認可申請について  
本件は、2019年度において、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より長期借入金の借入並びにその償還を行うもの。
- (10) 平成31年度学長裁量経費(施設整備関連経費)の選定について  
本件は、平成31年度の学長裁量経費により実施する営繕事業について選定するもの。
- (11) 大和町宿舎の整備計画の変更について  
本件は、大和町宿舎の整備計画を民間業者への貸付から、大学での運営継続に変更を行うもの。
- (12) 教育の内部質保証体制の整備に伴う「国立大学法人佐賀大学教育企画戦略室設置規則」の一部改正及び「佐賀大学教育コーディネーター規程」の制定について  
本件は、教育企画戦略室の業務に「教育にかかる改善」を追加し、また教育コーディネーターに関する規程を制定するもの。
- (13) 国立大学法人佐賀大学教育功績等表彰規程等の一部改正について  
本件は、本学の教育に功績のあった教員等の表彰において、教育に対する貢献度が高い教員を表彰できるよう整理を行うもの。
- (14) 学術交流協定(大学間協定)の締結について  
本件は、佐賀大学学術交流協定取扱要項制定後、最初の大学間協定となるもの。

審議の結果、14案件はすべて了承された。

(15) 収益事業の実施について（理工学部①）

財務課長から、理工学部より申請のあった収益事業（建設業界合同就職説明会及び建設業界研究セミナーの実施）について、平成30年度の実績と同様に、平成31年度も理工学部7割、大学本部3割の還元率で実施したい旨説明があり、審議の結果、了承された。

なお、佐々木監事から平成30年度の参加学生数及び就職状況について確認があり、財務課長から、確認の上、後日報告する旨回答があった。

(16) 収益事業の実施について（理工学部②）

財務課長から、理工学部より申請のあった収益事業（ホブ盤及び付帯設備の売却）について、売却対象設備の詳細、及び「収益事業の実施による所有物品売却の収益の還元率の取扱い」を本役員会で決定し、それに基づき理工学部3割、大学本部7割の還元率で実施したい旨説明があり、審議の結果、取扱いに「更新の場合はこの限りではない。」旨の一文を追加修正し、今後はこの取扱いを原則として役員会において審議する旨了承された。

(17) 「国立大学法人佐賀大学における公正な研究活動の推進に関する規程」一部改正について

学長から、本件は、「不正行為の定義」と「調査を行う際に報告を行う機関」について、規程の改正を行うものである旨説明があり、次いで、寺本理事から、文部科学省により平成30年9月6日に実施された「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を踏まえた体制整備等の状況に関する実態調査において指摘された事項について、関係規程を改正する旨説明があり、審議の結果、了承された。

(18) 「国立大学法人佐賀大学における公正な研究活動の推進に関するガイドライン」一部改正について

学長から、本件は、「調査を行う際に報告を行う機関」について、本学のガイドラインの改正を行うものである旨説明があり、次いで、寺本理事から、文部科学省により平成30年9月6日に実施された「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」を踏まえた体制整備等の状況に関する実態調査において指摘された事項について、ガイドラインを改正する旨説明があり、審議の結果、了承された。

(19) 運営体制の変更に伴う学内規則等の整備について

学長から、本件は、運営体制の変更に伴い、学内規則等に所要の改正を行うものである旨説明があり、次いで、総務課長から、平成31年4月1日付けで理事を兼ねない事務局長が着任することにより、これまで理事（人事・労務・財務担当）が担当していた業務を理事（企

画・総務担当)へ移管することに伴い改正する旨説明があり、審議の結果、了承された。

- (20) 国立大学法人佐賀大学個人情報保護規則等の一部改正について  
学長から、本件は、法律の一部改正に対応するため、関係する学内規則等について所要の改正を行うとともに、新たに細則を制定するものである旨説明があり、次いで、総務課長から、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の一部改正に対応するため、関係する学内規則等について所要の改正を行うとともに、新たに「国立大学法人佐賀大学独立行政法人等非識別加工情報の提供に関する細則」を制定する旨説明があり、審議の結果、了承された。

- (21) 内部統制システムについて  
和田理事から、「国立大学法人佐賀大学における業務の適性を確保するための体制等について」に基づき、内部統制担当理事は、本法人における内部統制システムが有効に機能しているかモニタリングを行い、その結果を取りまとめ役員会に対して報告を行うものであり、平成30年度のモニタリング項目（平成29年度のモニタリングにおいて評価が【C】であった5項目）及びコンプライアンスに関する取組（ハラスメント、情報セキュリティ、研究不正、研究費不正）の確認結果について報告があり、総評として、平成30年度における内部統制システムは有効に機能していることが確認された旨報告があった。  
次いで、平成31年度のモニタリング項目について、平成29年度に総務省通知において示されモニタリングを行った106項目及びコンプライアンスに関する取組をモニタリング項目とする旨説明があった。  
最後に、「法令遵守の基本方針」について、法令遵守と内部統制システム関係を整理するため一部改正を行い、これに伴い「法令遵守のための実施要領」を廃止する旨説明があった。  
上記の3点について、審議の結果、すべて了承された。  
なお、佐々木監事から、「法令遵守の基本方針」について、法律により定められている、役員が法令遵守に違反する疑いを発見した場合の監事への報告義務について、本方針にも明記するよう提案があり、文言を修正することとなった。

- (22) 国立大学法人佐賀大学寄附金獲得戦略の一部改正について  
学長から、佐賀大学寄附金獲得戦略が策定から3年を経過したため、見直しを行い、所要の改正を行うものである旨の説明があり、次いで、総務課長から、毎年度策定した行動計画に沿って募金活動を行った結果、3年間の目標額は大幅に上回ったところであり、平成31年度から3年間の目標額を3,300万円とする旨の説明があり、審議の結果、了承された。

- (23) 「佐賀大学と Citynow Asia 株式会社の人材育成及び共同研究事業に関する協定」及び「Citynow Asia 株式会社の佐賀市への進出に関する協定」の締結について

寺本理事から、各協定案及びその目的、加えて、Citynow Asia 株式会社代表取締役社長 Phan Tuan Tai 氏がベトナム国家大学ホーチミン市校情報技術大学（UIT）の顧問を務めている旨、UIT は理工学部と部局間学術交流協定を締結し、UIT から優秀な学生を理工学部を受け入れる計画である旨等の説明があり、審議の結果、了承された。

- (24) その他  
特になし。

## 2 報告事項

- (1) 附属病院経営状況について

山下医学部附属病院長から、平成30年度附属病院収支実績及び見込（～12月実績）、粗利の収支状況及び見通し、月別材料比率の推移、診療科毎稼働実績累計、平成30年度附属病院の目標の達成状況等について報告があった。

- (2) その他  
特になし。

## 3 その他

特になし。

以上